

木戸 きど さだかず

神戸市議員

活動
報告
2026.10



1974年生まれ

- 神戸大学卒業、京都工芸繊維大学大学院修了、淡路景観園芸学校修了
- 京都で植木職人として修行後、設計コンサル勤務。
国営明石海峡公園の基本設計や自治体の景観形成条例策定等に携わる。
- 兵庫県議会議員1期（2019～2023）、神戸市議員（2023～現在）

熊本地震の教訓からペット避難を考える 神戸市のペット避難所は機能する？ (ペット) 本当に、家族の命は守れるか？

👉 神戸市内の飼い犬・飼い猫は合わせて約**13万頭!!**

熊本地震で起こった出来事

ペットは家族。一緒に避難できないなら、自分の車や自宅に留まるという方は非常に多く、10年前の熊本地震、そして今回の地震でも大きな課題となりました。ペットは「屋外隔離・自己責任」をルールとする神戸は同じことが起こります。熊本地震の教訓から、ペット避難についてもっと考えていく必要を感じました。今回は顕在化した課題と今できる日頃の備えについてご報告いたします。

1/ 小屋に隔離され、「熱中症」が多発

一緒に避難できても避難所脇の小屋などにケージのまま隔離され、エアコンもなく、酷暑のなか熱中症や過呼吸になる犬猫が続出しました。



2/ 周囲への気兼ねから「車中泊」を選択

動物アレルギーや鳴き声などで迷惑をかけたくない、健康リスクの高い車中泊やテント泊を選ぶ飼い主が続出しました。



3/ 避難所建物の損壊による「受入拒否」

人間の生活空間の確保を最優先にするため、ペット用の受け入れ枠やスペースが削られる避難所が発生しました。



危機を救った『民間の底力!!』

ペット「**同伴避難所**」を翌日スピード開設！
ペットの「**無料預かり**」で生活再建を応援！
全国からの「**SOS物資**」をダイレクト配送！

Point!



2021年の協定が実を結んだ

熊本市と協定を結んでいた九州動物学院が、発災翌日に「人とペットが同室で過ごせる専用避難所」を2か所開設。最大100人・300頭の受入体制で、ペットフードや医療支援まで完備し多くの命を救いました。

Point!



生活再建を支えた民間の力

動物病院やボランティアが連携して無料の一時預かりを実施、飼い主が安心して片付けや行政手続きに動ける環境を応援しました。さらに大量のペットフードやケージを、物資の届かない避難所へ直接車で届け続けました。

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！ 神戸市議員 **木戸さだかず** tel. 070-7645-4168

神戸市のペット『同行避難』を考える

しっかり提案します!

⚠ 神戸市のペット同行避難 5つのルール ⚠

1. 避難所で『同じ場所には入れません』

神戸市のルールは避難所まで「一緒に逃げる（同行）」こと。避難所の建物（体育館や教室など）は人間の居住スペースで、一緒に入ることは原則できません。

2. ペットの居場所は原則『屋外』

動物アレルギーや鳴き声への配慮から、ペットの居場所はグラウンドやピロティなどの「屋外」や「専用エリア」に分けるのが基本となります。

3. ケージやお世話は『自己責任』

避難所にペット用ケージの備え付けはありません。毎日のお世話も飼い主が行います。

4. ペットフードや水は『出ません』

食料・水は用意されていません。最低5日分～1週間分のペットフードや水は、各家庭での事前備蓄が不可欠です。

5. 同伴できる避難所は『しあわせの村のみ』

人とペットが24時間同じ室内で過ごせる避難所は、しあわせの村にある「こうべ動物共生センター」の一箇所だけです。ここではケージやフードも備蓄されています。

人もペットもみんなが助かる避難へ

ペットと一緒に避難できる場所がない問題

「ペットと一緒に避難できないから」と車中泊や自宅残留を選び、結果、エコノミークラス症候群や熱中症などで死亡する悲劇は、国内外問わず多く発生しています。

指定避難所(学校など)が抱える限界

学校をペット同室の避難所にする、学校再開時に「動物アレルギーを持つ子どもたちの健康を害する」という別の深刻な問題が生じるなど難しい課題があります。

【世界基準・熊本の教訓】を神戸へ!

Point! 過去の教訓から、アメリカやドイツでは、行政が民間施設やホテルと救護協定を結ぶ公的仕組みが確立しています。熊本でもこれが発災直後のペット同伴避難所のスピード開設に絶大な効果を発揮しました。

神戸市も獣医師会との連携、しあわせの村の同伴避難所設置の取組みはありますが、まだまだ規模的に十分ではありません。海外のようにプロの専門チームがすぐに動ける仕組みづくりも進めていかなければなりません。



わが家の「愛犬・愛猫」防災チェックリスト



1. 食料・水・常備薬(7日分)

食べ慣れたフードやおやつも忘れずに!



2. ケージ・キャリーバッグ

日頃から、中に入る「しつけ」を



3. 迷子札・マイクロチップ

引っ越し後の「登録情報の更新」も必須!



4. 各種ワクチン・ノミダニ駆除

避難所での集団生活に欠かせないマナー



5. 避難ルートの事前確認

ペットと一緒に、歩いてみましょう

あわせて準備しよう!!

☐ タオル・ブラシ

(抜け毛・汚れケア)

☐ ウェットタオル・洗淨綿

(皮膚の清潔保持)

☐ 洗濯ネット

(猫の脱走・パニック防止)

☐ ガムテープ・マジック油性

(ケージへの情報掲示)

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください!

神戸市会議員 木戸さadakazu

お名前

お電話番号

〒654-0142

須磨区友が丘1丁目109

電話: 070 (7645) 4168

メール: k.sadakazu@gmail.com

ご意見

編集・発行/こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL: 078-322-5844 FAX: 078-322-6161